

メイプル



(R4年3月号 NO①) 最終号

令和4年3月3日
ニュージャージー日本人学校
校長 菱沼省二



【校長より】

『卒業式の合唱』

この2曲を選んだのは、卒業生自身（9年中心）と在校生自身（8年中心）です。
この曲「卒業」を歌って式を迎える卒業生に、この曲に込めた特別な想いがあります。
この曲「旅立ちの日に」を歌って卒業生を送り出す在校生には、感謝の気持ちと同時に、卒業生へのエールの気持ちが含まれています。NJ校を託される自分たちへの決意が感じられます。

《卒業生合唱》

曲目 「卒業」（コブクロ：男性二人のコンビ歌手）

「卒業」

歌：コブクロ

あの日から どれだけの時を ここで重ねてきたら 着なれない服を着て
並んでいた 広いこの教室 3月の川沿いを結ぶ 白いアーチ濡らす天気雨
あの日より少し寒いような 旅立ちの朝 賑やかな黒板
迷い立ち止まるときには あなたがくれた言葉を握りしめて

※中略

卒業が別れじゃないことを知るのは
今よりも大人になれた時 その日まで それぞれの道を
歩いて 躓いて 振り返り 振り返り
きっと きっと きっと また会えるその日まで



《在校生合唱》

曲目 「旅立ちの日に」（荒廃した中学校を立て直すために作られた合唱曲）

「旅立ちの日に」

白い光の中に 山並は燃えて 遥かな空のはてまでも きみは飛び立つ
限りなく青い空に 心ふるわせ 自由をかける鳥よ 振り返ることもせず
勇気を翼に込めて 希望の風に乗る この広い大空に 夢を託して

※ 中略

今、別れの時 飛び立とう未来信じて 弾む若い力信じて
この広い この広い 大空に



コロナ感染症の影響がまだ残り、受験後の渡米がままならない卒業生がいます。Webの世界ではありますが、精いっぱい心を込めて歌います。彼ら・彼女たちの卒業への想いを感じ取ってください。皆さんの温かい思いが、素晴らしい卒業式を作ります。

素晴らしい卒業式は、卒業生と在校生に「充実した将来」を約束すると信じています。

【帰任の挨拶】

校長 菱沼省二

2週間ほど前まで、9年生の2名と「部活動」について何度か話し合う機会をもちました。受験する高等学校の面接試験に役立てることが、主な狙いでした。海外では体験が難しい「部活動」の成果、問題点、課題克服の手立てを様々な角度で話し合いました。この話し合い自体が有意義な時間でしたが、実際の帰国後には、国内高校の部活動体験で、この何倍も大きな成長をするに違いありません。

【2名との話し合いの話題「部活動で大切なこと」】

※菱沼⇒ソフトボール部顧問でした。

①一生懸命にプレーしている選手は、叱らない。いい所を見つけて褒める。

どんなに走るが遅い選手でも、一生懸命走っていたら、「腕の振りがいい」「前傾姿勢が良くとれている」「ベース際でスピードが落ちない」などと褒めます。でも、決して嘘は言いません。その部員が頑張っている点を見るだけです。

②自分にできないプレーでも「正しいプレー」は部員同士でアドバイスし合う。

「バントの時、腰が逃げていた。ボールが速いと怖いかもしれないけど、一緒に頑張ろう。次で取り返そう」と声を掛ける。恐怖心や緊張感と戦う場面は今後無数にあります。こんな体験が将来でも役立つ時が来るはず。アドバイスする友のありがたみを知ります。

③目標を共有し、励まし合う。

「今日の目標」、「今週の目標」、「今月の目標」を発表し共有する。「今、Aさんは、スローイング時のグラブ手の動きに気を付けている」、仲間はそれを重点的に観察し、アドバイスや激励を伝えます。

上記内容は、ソフトボール限定・部活動限定ではありません。人と人が「助け合い、励まし合う」様々な場面に役に立つと思います。東京のグラウンドで、白髪の初老ソフトボール指導者が大きな声を出していたら、私かもしれません。是非、声を掛けてください。お世話になりました。



【帰任の挨拶】

教頭 松浦 敦雄

『NJ校の素敵なおとこ』

“Time flies” あっという間の3年間でした。ニュージャージーでの3年、私の人生で大切な時間となりました。ニュージャージーの豊かな自然のように、素直で豊かな心を持ち、何事にも一生懸命取り組む子どもたち。五感で感じながらいろいろなことに純粋に興味を持ち、多くの知識を結集して考えようとする姿勢にいつも刺激を受けていました。

以前、私の好きな場所として、廊下に掲示されている写真を毎日見ることだと「学校だよりメイブル」でお伝えしました。2年目は、コロナ禍でほとんど写真が更新されませんでした。3年目の今年度は感染防止対策が進み、行事も日程の短縮や人数制限、そして交流環境などが見直され、たくさんの写真が更新されました。以前同様、希望に満ち溢れた子どもたちの元気な笑顔がいっぱい写っています。子どもたちが学校に登校できることはとても素晴らしいことだと改めて実感しました。

次に私の待ち遠しい時間は、帰りのバス乗車に向かう子どもたちと挨拶を交わすときです。どの子どもたちにもこやかな笑顔で挨拶をします。じゃんけんをあいさつ代わりにしてくる子もいます。1日の学校生活の中では、楽しかったこと、頑張ったこと、ちょっと困ったりいやだったことなどたくさんあったと思います。それでも、帰りには満足げな表情でバスに乗り込みます。きっと自分の思いを分かってもらえたり、伝えられたり、認めてもらえたりしながら心が満たされ、心の折り合いをつけることができたのだと思います。

そして、心惹かれるときは、行事の後の振り返りの時間です。最初は、うまく進められなかったことが、上級生一人一人が覚悟を決め、本気でリーダーシップを取ることで下級生もメンバーシップを発揮して応えていきます。縦と横のつながりができ、重なり交じり合い、素晴らしい発表が創られました。その発表が終わった後、成し遂げられた自信と共に関わったすべての人への感謝の気持ちを忘れることなくお互いに称え合う瞬間です。本校の一番の良さだと私が考える「何事にも本気と覚悟を持って取り組んでいる」子どもたちだからこそ認め伝え合える瞬間だと思います。

寂しい気持ちになる時は、お別れ集会です。「同じ空の下」の歌詞の「わかっていただけよ さびしいよ」が心にしみこんできます。

他にもニュージャージー日本人学校での生活には、心動く素晴らしいことがたくさんあります。いつも温かく見守り協力してくださった保護者の皆様のお陰で充実した日々を送ることができました。多くの方々とお会いしたことは私の財産です。皆様への感謝の気持ちを忘れず、ここでの経験を「人生の糧」「心の糧」として今後の人生を歩んでいきたいと思っています。

最後に、日本人学校の益々のご発展とこれからも児童生徒たちの笑顔がきらりと輝く学校であり続けますようお祈りしています。ありがとうございました。

【帰任の挨拶】

教諭 吉田 耕平

『NJ校の絆』

NJ Family。なんといい響きなんでしょう。児童生徒、教職員、PTOが1つの家族のような温かい学校にふさわしいフレーズだと思います。赴任1年目の運動会ではPTO競技として未就学児競技「ドーナツ食べちゃお」がありました。PTOの方に準備いただき、未就学の子もたちも一緒になって運動会に参加する姿にみんながほほえましい顔で応援していました。中等部、初等部それぞれに親子競技もありまさに家族が力を合わせる競技として、このNJ校の良い伝統でした。

カレーの日。クラスペアレンツやPTOボランティアの方々に愛情を込めて作っていただいたカレーライスを全校生でいただきました。「いただきます」と「ごちそうさま」は各学年が担当してPTOの皆様へ感謝を伝える劇を行っていました。当日までに空き時間を使って子どもたちは劇を考えましたが、「いかに自分たちの感謝の気持ちをPTOの方々に伝えられるか」が難しく、いろいろとアイデアを出して作り上げていきました。劇を作っている最中、お母さんの喜ぶ顔を思い浮かべながら、とっても楽しそうにしていました。時には実際に保護者の方にも劇に参加していただくときもあり、子どもたちと保護者の皆様の絆の深さが実際に見られたのも大変印象的な行事でした。

メイプルタイムや昼休みは子どもたちが一番楽しみにしていた時間。暖かい時期は学年関係なく一緒になってグラウンドを駆け回っていました。時には初等部低学年の子どもたちが中等部の生徒たちと張り合ってサッカーをして遊んでいました。大きな体格差があったにもかかわらずが少なかったのは、中等部の生徒たちが下級生のことを気遣いながら、ともに楽しむことができる風潮があったからだと思います。そんな優しさが溢れる上級生がいるからこそ、全力で張り合える下級生たち。本当に年齢の枠を超えた素晴らしい関係ができていました。



今は新型コロナウイルスの影響で制限が残っていることもありますが、周りを見ても徐々に制限が解除され始め、本校でもできることが増えてきました。昨年、一昨年とできなかった行事もできるようになってくるはず。そうすると、PTOの皆さんもご参加いただける行事も出てくるのかなと思っています。その時は、ぜひ多くの保護者が子どもたちと一緒に活動して、NJ FamilyとしてのNJ校での思い出をたくさん作ってほしいと願っています。

力不足から皆様にご迷惑をおかけしたこともあったと思います。しかし、皆様が暖かく支援していただけたおかげで何とか3年間を過ごすことができました。NJ校で得た経験を次への糧として頑張っていきます。本当にありがとうございました。

【帰任の挨拶】

教諭 立石 耕一

『魚を分ける教師より、竿を渡す教師をめざして』

インドの童話に、こんな話がある。釣り人が魚を釣っていると腹をすかした子どもがやってきた。「おなかがペコペコです。魚を分けてください。」と、釣り人が訴えた。釣り人は、魚を分けてやる代わりに竿を分けてあげた。

この話は、教育のめざすべきことを端的に表している。その場しのぎの魚を分けてあげても、その子どもは、これから先、生きていくことはできない。生きていけるために竿を分けてやるような、そういう教師になりたいというのが、私の願いである。学習指導要領には「生きる力」というキーワードがある。これは、この童話での「竿」を表していると思う。

私は、算数・数学を通して、子どもたちに、「もっと〇〇したい」と思わせることが、「生きる力」につながると考えている。私たちは、子どもたちに、「もっと考えたい」「さらにこうするとどうなるのだろう」「もっと知りたい、聞きたい」と連発させる授業をめざしてきた。



これには、数学の本質にふれる機会をどのようにつくっていくのが鍵を握っていると考えている。

数学の本質とは、何だろうかと考えたときに、私が浮かんでくるのは、「粘り強く考えること」と「登山」である。私たちは、先人の数学者と呼ばれる人々が、未解決の問題（事象）に、粘り強く考え続けた結果を超高速で触れていることになる。あまりに超高速であるために、結果を暗記しないといけな流れが出てくるが、やはり、プロセスが重要である。このプロセスをよく登山に置き換える。山頂は一つである。しかし、山頂への道筋は、様々である。先人の道もあれば、獣道もあるだろう。どの道も山頂へつながっており、そこに達成感がある。さらに、山頂からは、次の山が見え、新たな道を歩いていくのかもしれない。

数学の本質にふれることで子どもたちは「もっと」という気持ちになり、竿を持てるのである。子どもたちに「もっと〇〇したい」と切望させる授業、そして、竿を分けてあげる授業をめざしたいものである。

【卒業製作】 6年生

今年度、実施前日に中止となったフロストバレー宿泊学習。しかし、その悔しさを跳ね返すかのようにイーストバレー宿泊学習は、楽しさが爆発しました。

その中でも、施設の庭先で興じた「ガガボール」は、特に楽しかったようです。その楽しさを、学校全体に伝え、残すために「ガガボール用サークル（正八角形）」を作成しようと決めたようです。

下級生に悟られないように注意しながら、数か月がかりで作りました。

【製作者の一言】

① 小林 華

卒業製作としてガガボールサークルを作った理由

私達は卒業製作でガガをつくりました。ガガをつくった理由はイーストバレーで遊んで他の学年にも楽しんでほしいと思ったからです。

② 居石莞奈

2月の中旬に完成しました。完成したときは、とても達成感がありました。今は、ブランコの前に置いているのでぜひ遊んでください。

③ 宮崎紗椰

私たちは、11月に計画を始めました。最初は、形や必要になる木の枚数、大きさなどをみんなで考えました。

12月から本格的に作業を始めました。一番大変だったことは、木にニス塗ることです。また、ネジを打ちこむときには、4人で役割を分担しながら楽しくすることができました。

④ 高田和虎

6年生みんなで頑張って作りました。作った僕たちも達成感があり、NJ校のみんなが楽しそうに遊んでいたのが嬉しかったです。

⑤ 矢出大介

自分たちが経験して楽しかったことをみんなにも伝えたい。この気持ちは何よりも嬉しかったです。たくさん木にニスを塗り、重くかたい木にネジを打ち込む作業。小学生には大変難しい作業でしたが、お互いでアドバイスをしたり、協力したりしながら完成させることができました。卒業製作をすることで、絆を深めることになりました。6年生が作った「ガガ」によってみんなが笑顔になってくれると嬉しいです。



【卒業製作】 9年生

一時帰国、受験、再渡米ととても忙しい中、9年生も心のこもった「卒業生製作」に取り組みました。

写真フレーム（玄関ドアを入れてすぐ右側、全校写真を納めるためのおしゃれな手作りフレームです。

全校生徒を暖かく包み込む、きれいなフレームを作成中です。

今後 NJ 校生を、卒業式に日には卒業生自身のことも見守ることでしょう。

【製作者の一言】

私達9年生は、卒業製作として全校写真のフォトフレームを作っています。

3学期は受験などで入れ替わりが激しいので、バトンタッチ式で制作してきました。フレームの枠がなかなか組み合わなかったり、ペンキがブルーシートに張り付いてしまったりとうまく行かないこともありましたが、無事ここまで進めることができました。

完成まで、9年生一同頑張ります！ （記載 眞木希実）



【連絡事項】

①卒業式＋修了式＋離任式

※前回（2/15）連絡と変更点があります。

《卒業式》

日時・会場 3月10日（木） 13:00～14:30 本校コナースホール

会場参加 卒業生（6年＋9年） 在校生（全学年参加）

来賓（NJ 学校運営委員長他3名） 教職員

※コロナ感染防止を考慮し、参加者は最低限に絞らせていただきます。

《修了式⇒離任式》

日時・会場 3月11日（金） ※原則、午前中 本校コナースホール

参加者 在校生全員

※保護者は Zoom 参加か、駐車場待機となります。

☆3月10日に卒業式が実施できない場合

※3/10 が荒天の想定

《卒業式》 ⇒3月11日（金） 12:30～ 3/10 と同会場

※参加者や卒業式の内容は 3/10 の場合と同じです。

《修了式⇒離任式》 ⇒卒業式に引き続き実施します。

卒業生も修了式⇒離任式に継続参加します。

※卒業生保護者の方は卒業式後、

Zoom 参加か、駐車場待機となります。

☆3月11日も登校できない状況の場合

《卒業式⇒修了式⇒離任式》 3儀式ともに、Zoom で実施します。

②着任式⇒始業式⇒入学式

日時 令和4年4月12日（火）

着任式と始業式 午前中 コナースホール＋教室

入学式 午後 コナースホール＋教室

③連絡手順の確認（春季休業中）

春季休業中に緊急の連絡が必要になった場合

校長公用携帯(551-202-9144)

へご連絡ください。

新教務主任（令和4年度）が、電話対応いたします。



④標準学力検査導入

新学習指導要領が全面的実施となりました。新しい時代に求められる資質・能力を育むために、教育のあり方や方法が大きく変わってきました。そこで、児童生徒の学習習熟度を正確に把握し、

さらに学力を高めていくことが求められます。来年度（令和4年度）から、4年から9年で

「標準学力検査」を実施します。※中等部が従来実施してきた学力診断テストは継続します。

実施は年に1回、適切な時期（1学期末で検討中）に実施する予定です。

ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【掲載後記】

1年半にわたり、メイプル（学校だより）を読んでいただき、ありがとうございました。「自分勝手な想いを皆様に、押し付けてしまったのではないか」と心配しています。不適切な表現等があった場合、この場でお詫びをさせていただきます。

メイプルの原稿を作成する時間は、赴任期間のライフワークの中心であり、ニュージャージー日本人学校に勤めている「実感をもてる貴重な時間」でした。みなさんは、海外で子育てすることだけでも大変なことなのに、コロナパンデミックが重なり、大きな負担とストレスがあることでしょう。

そのような状況下にある皆さんの「少しでも心の支えになりたい」と執筆してきました。お役に立てた部分が少しでもあれば幸いです。

私は、メイプルを「月に2回ペース」で発行させていただきました。本来本校の流れでは「月に1回」が原則となっています。

「思い入れの強い勝手な菱沼校長の行動」とお笑いいただき、来年度からのメイプル発行回数は、新校長にお任せいただけると幸いです。

皆様とメイプルを通じ、「心を通わせたこと」、生涯の宝とします。ありがとうございました。



令和4年3月3日 校長 菱沼省二